

PDCAサイクルの構築体制について

記載の有無 **あり**

※「あり」とすとデータ抽出の対象となります。記載する内容がない場合は「なし」としてください。「なし」の場合は以下について記入の必要はありません。

病院名: **日本大学医学部附属板橋病院**
平成29年9月1日現在

■自施設の診療機能や診療実績、地域連携に関する実績や活動状況の他、患者QOLについて把握・評価し、課題認識を院内の関係者で共有した上で、組織的な改善策を講じる体制について、地域に対して行っている情報提供を記載してください。

- ①院内の見やすい場所に掲示している いいえ (はい/いいえ)
- ②院内誌、チラシ等で広報している いいえ (はい/いいえ)
- ③ホームページに掲載している はい (はい/いいえ)
- ④ホームページに掲載している場合、該当するページのアドレスを記載してください
- ⑤地域の広報誌等で広報している いいえ (はい/いいえ)
- ⑥その他の方法で掲載している いいえ (はい/いいえ)
- ⑦その他の方法がある場合、内容を記載してください

■自施設の診療機能や診療実績、地域連携に関する実績や活動状況の他、患者QOLについて把握・評価し、課題認識を院内の関係者で共有した上で、組織的な改善策を講じる体制について、必要に応じて図表などを活用し、具体的に記載すること。

PDCAを使って改善することを想定している課題(いくつでも可)

課題の内容	目標	目標達成の検証方法(データ源)
例) 患者満足度の向上	退院患者の80%が入院治療環境に満足する	3か月おきに日を設定して患者アンケートを行う。
1 治療の継続	患者に安心して治療を継続してもらえよう医療機関の情報共有を目指す	6大がん地域連携クリティカルパスの活用状況の把握及び改善
2 患者のQOLの向上	苦痛の少ない治療の継続	スクリーニングを利用し、早期に問題点を抽出する。抽出した問題点を関連部署にフィードバックして連携を図る。
3 患者の療養生活の向上	就労支援の実施	院内に於いて就労サポートプログラムを実施。プログラム内容等アンケートにより、患者ニーズを確認する
4 患者の療養生活の向上	患者サロンの実施	院内に於いて患者サロンの定期開催を実施。講演内容等アンケートにより、患者ニーズを確認する
5 患者のQOLの向上	多くの患者さんに「がん相談支援センター」を利用してもらい、不安を解消する	院内において、医師から患者への当室の紹介を増やすように、繰り返しの周知と紹介患者数を把握していく

上記の目標に向けた活動計画の予定(未定の場合には、未定と記入)

1	6大がんの各担当者とクリティカルパス活用拡大に向けての流れを構築
2	スクリーニングの運用拡大(痛みセンター)
3	年4回(1回3セッション)開催。社会保険労務士、公共職業安定所の担当者、医療者が同席し、仕事とがん治療の両立について困難なことや悩みを共有し、社会保険制度の仕組みなどサポートしながら職業復帰と職場復帰への支援を行うプログラムを実施。
4	年4回がん患者セミナーとがん患者カフェを開催。患者のニーズに沿った内容のセミナーは講師の講演から問題解決のヒントを得たり、カフェでは患者本人・家族が体験や気持ちを語り合うプログラムを実施。
5	定期的に、各委員会等でがん相談支援センターの患者への紹介を依頼し、診療科からの紹介数を把握し、委員会で報告。

このシートに貼付することが難しい場合、**ファイル名の頭に別紙46を付けた**電子ファイル、別添資料を提出すること。

別添資料の提出有無 なし (あり/なし)
 ファイル形式 (ワード/ワー太郎/リッチテキスト/エクセル/パワーポイント/PDF/その他)
 その他の場合ファイル形式を記載してください。